

阪田 知樹 & 内藤 晃 Duo Live

ダイナミズムとリリシズムの競演

高鳴る鼓動を
確かめる間もなく
鍵盤を飛び出した
小節。

朝焼けの中に響く
清くたどしい
小川の旋律。

いま、二つの音が
一つの空間で湧き上がる。

入り乱れ、ぶつかり合い、
手をつなぐ。

色とりどりの
メロディーの乱舞が
翼をたたむ舞台の終わり

あなたが
思い描く景色は
どこだろうか？

江倉しおり(歌人)

日時:2013年11月3日(日)

開演:19:00(開場18:45)

会場:汐留ベヒシュタイン・サロン



AKIRA NAITO



TOMOKI SAKATA

ベヒシュタイン・ピアノについて・・・

形は同じように見えてもピアノの音色は、ブランドによって大きく異なります。さらにヨーロッパ製のピアノは、同じモデルでも個体差があります。

ベヒシュタインの個性をわかり易くいえば、「音の透明感が高く、立ち上がりが速く、減衰も比較的速い」ということです。これは、音楽的且つ演奏上の意味を考えて設計されたものです。

「減衰が速い」ということは、音が混じり合う時の色彩感がより鮮やかになります。この点は、印象派といわれるドビュッシーが指摘していることです。

近年のピアノは音量のみを追求する傾向にあり、全ての音がぼわんとぼやけて聴こえてしまいます。その点でベヒシュタインは、時代のニーズを反映させながらも、リストのような重層的な曲の立体感を、透明感のある音で見事に表現できるのです。このようなピアノの特徴を意識して聴かれると、あらためてベヒシュタインの良さを感じていただけるかもしれません。



C. BECHSTEIN

阪田 知樹 & 内藤 晃

Duo Live

ダイナミズムとリリズムの競演

日時：2013年11月3日(日)

● 開演19:00(開場18:45)

会場：汐留ベヒシュタイン・サロン

料金：3,000円

チケット購入及び入場整理券について

チケット申込みは事前予約(電話もしくはEmail)になります。

ご精算はライブ当日の17:00から当サロンにて受付開始

となり、受付順に入場整理券をお配りします。

開場時間18:45から整理券の番号順にご入場いただけます。

ー プログラム ー

モーツァルト： 2台のピアノのためのソナタ 二長調 K.448

チャイコフスキー： バレエ組曲「くるみ割り人形」Op.71a
(エコノム編曲 2台ピアノ版)

リスト： 2つの演奏会用練習曲 S.145より
第2曲 「小人の踊り」

ヘンゼルト： 12の演奏会用性格的練習曲 Op.2より 第6曲
「もしも私が小鳥だったなら」(阪田ソロ)

ショパン： 即興曲第3番 変ト長調 Op.51(内藤ソロ)

ラフマニノフ： 2台のピアノのための組曲第2番 Op.17

阪田知樹

1993年名古屋生まれ。5歳半よりピアノを始める。現在、東京藝術大学音楽学部器楽科2年に在学。第61回全日本学生音楽コンクール全国大会中学校の部第2位。第9回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA 中学生部門アジア大会 銀賞。第9回フランク・リスト国際ピアノコンクールセミファイナリスト。第35回ピティナ・ピアノコンペティション 特級グランプリ、及び聴衆賞、併せて文部科学大臣賞、読売新聞社賞、王子ホール賞、東京シティ・フィル賞受賞。第8回浜松国際ピアノコンクールセミファイナリスト。第14回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール最年少ファイナリスト。

第12回クレムリン音楽祭出演の他、ポーランド、オーストリア、チェコ、オランダ、大阪、東京等国内外にて演奏会出演。ジュネーヴ、ルガーノ、パリ、横浜にてリサイタル開催。これまでに藤原英雄、堀了介の両氏とピアノ三重奏を、四方恭子、松実健太、河野文昭の各氏とピアノ四重奏を、プレンターノ四重奏団とピアノ五重奏を共演。岩村力氏指揮・東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、松岡突氏指揮・浜松交響楽団、キプロス・マルコウ氏指揮・ルブリン・フィルハーモニック、矢崎彦太郎氏指揮・東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、パスカル・ヴェロ氏指揮・仙台フィルハーモニー管弦楽団、レナード・スラットキン氏指揮・フォートワース交響楽団と共演。西川秀人、パウル・バドゥラ=スコダの両氏に師事。

内藤 晃

1985年生まれ。東京外国語大学卒業。桐朋学園大学指揮教室、ヤルヴィ・アカデミー(エストニア)にて指揮の研鑽を積む。外語大在学中、CD「Primavera」(2008年3月)でピアニストとしてデビュー、「レコード芸術」5月号誌上にて特選盤に選出され、「作品の内面と一体化した純粋な表現は聴き手を惹きつけてやまない」(那須田務氏)などと高く評価される。

ピアノ、作曲、指揮、執筆の各分野で精力的に活動し、マリンバの吉川雅夫氏、佐々木達夫氏(元サンディエゴ交響楽団)、ヴァイオリンのG.セドゥーフ氏(サンクトペテルブルクフィルハーモニー)ら国内外の演奏家とも共演。監訳書にチャールズ・ローゼン著「ベートーヴェンを"読む"—32のピアノソナタ」(道出版)、校訂楽譜に「ヤナーチェク:ピアノ作品集1・2」「シューベルト=リスト:12の歌、水車屋の歌」(ヤマハミュージックメディア)がある。谷口未央監督による映画「仇討ち」「矢田川のバッハ」の作曲、音楽監督を務める。楽譜CDセット「マリンバ・フェイバリッツ」(共同音楽出版社・近刊)のピアノ演奏とピアノ編曲監修を担当。これまでに、ピアノを城田英子、広瀬宣行、川上昌裕、D.コレヴァー、V.トイフルマイヤーの各氏に、指揮を紙谷一衛、L.グリンの両氏に、音楽理論を秋山徹也氏に、古楽を渡邊順生氏に、ジャズコンポジションを熱田公紀氏に師事。自ら後進の育成にも力を注いでいる。ピティナ正会員。

ホームページ：<http://akira-naito.com/>

お申込み・お問合せ：汐留 ベヒシュタイン・サロン

TEL：03-6432-4080

Email：salon@euro-piano.co.jp



〒105-0021
東京都港区東新橋
2-18-2
グラディート汐留1F



主催：ユーロピアノ株式会社

後援：一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会